

雲仙岳

火山活動の評価：静穏な状況（レベル1）

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

現在の火山活動度レベルは1です。平成 15 年 11 月 4 日の導入以降、レベル1が継続しています。

概況

- ・ 噴煙活動(図1)

噴煙は少ない状態が続いています。

- ・ 地震活動(図1)

火山性地震は少ない状態が続いています。

- ・ 地殻変動(図2)

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動の変化は認められませんでした。

- ・ 発光現象

6 日から見られていた平成新山南側斜面の発光現象は、8 日には見られなくなりました。発光現象が見られていた場所では火山ガスの噴出や噴気孔と見られるものは確認されませんでした。

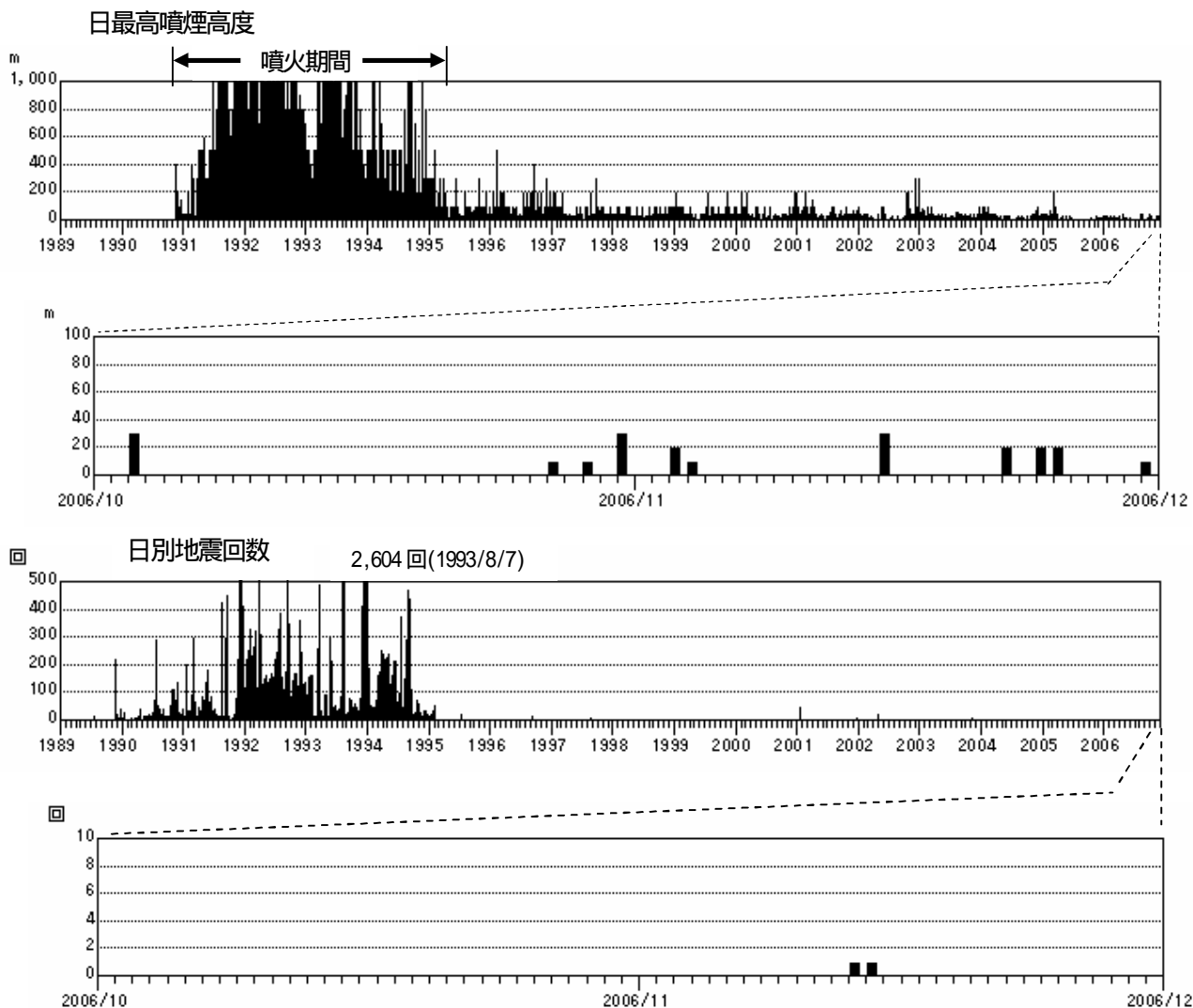


図1 火山活動経過図(1989年1月~2006年11月)

- ・ 火山性地震を2回観測しました。火山性微動は観測されませんでした(ともに10月は0回)。
- ・ 遠望観測で噴煙を時々観測し、高さの最高は30mでした(10月：最高高度30m)。

資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。また、同院発行の2万5千分の1の地形図を複製したものを使用しています(承認番号：平17総複、第650号)。

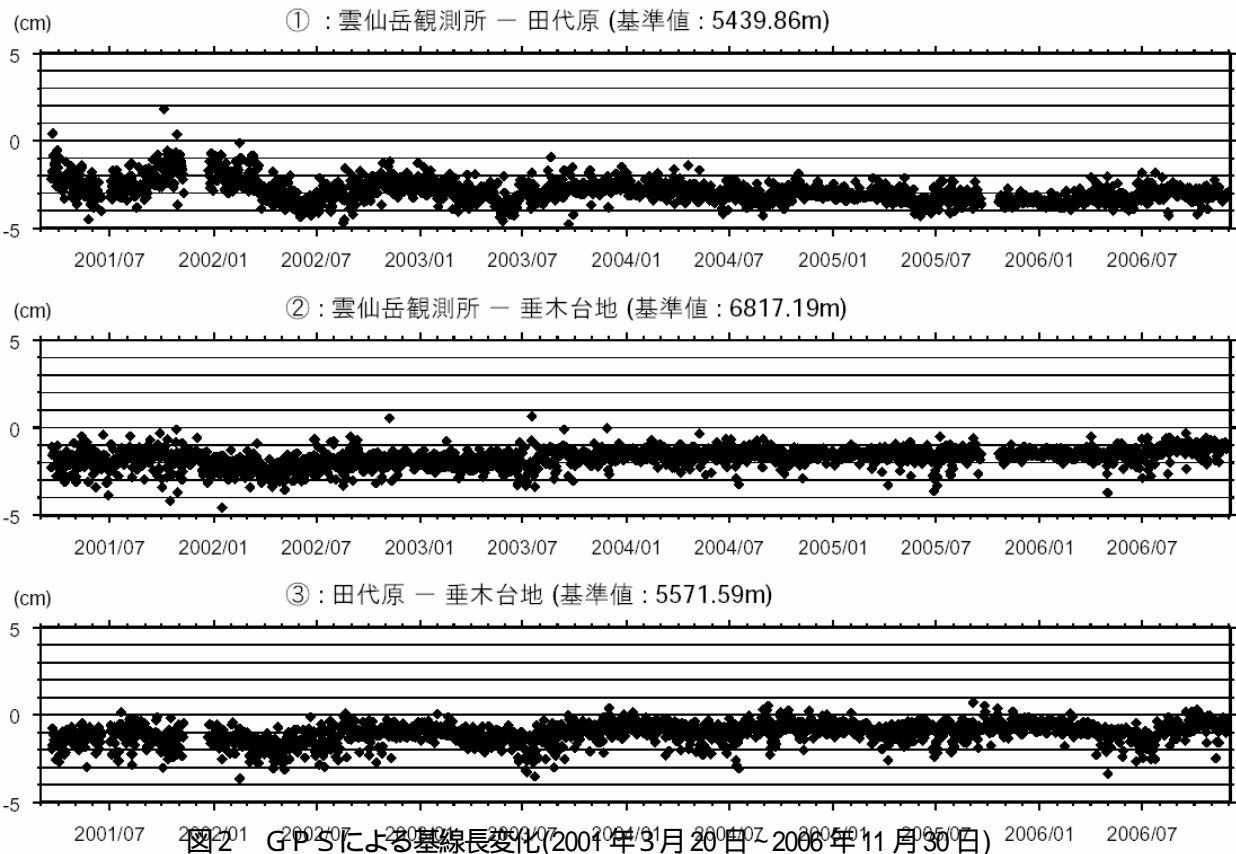


図2 GPSによる基線長変化(2001年3月20日~2006年11月30日)

・ 火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

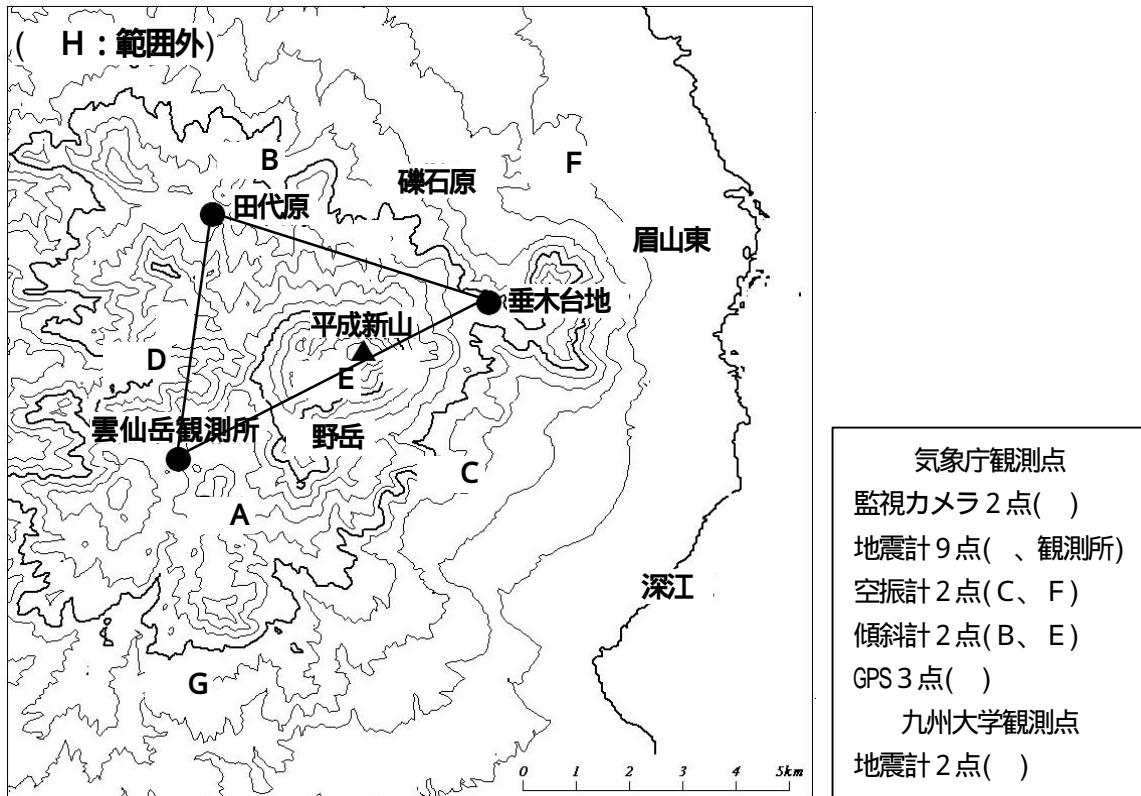


図3 観測点位置図